

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・「損得ではなく善悪で判断する」等の経営理念を明文化し冊子として配布し、経営者は会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・従業員は、自らの使命を理解し、やりがいを感じている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則に法令遵守を明文化しており、職場の掲示板等で、法令遵守の重要性を、全従業員に向けて発信している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。 ・不正競争行為の禁止を含む就業規則を整備し、明文化している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・専門組織である『SDGs推進室』を設置し、電動車の拡販、地下水保全活動、子供の貧困支援の活動など、地域の持続可能性向上に向けた取り組みを実践している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・メーカー主催の知的財産保護の研修参加を通じて、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・お客様より個人情報の取扱に関する同意を取得し、個人情報はパスワードを設定したPCで管理しており、情報漏えい防止を徹底している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客の声をサービスの改善に活かすため、定期的なアンケートを実施しており、サービスの充実を図っている。 ・1台1台を大切にするアフターサービスの充実に、全社員にて取り組んでおり、輸入車ディーラーとして顧客満足度全国1位、アフターサービスアワードの連続受賞を受けている。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・経営理念を根幹に掲げた「SDGs宣言」を表明しており、顧客・社会・社員という重要なステークホルダーに対してSDGs宣言をホームページに掲載し、持続可能な地域社会の実現に向け、全社挙げてSDGsに取り組んでいる。 ・環境、社会、ガバナンス(ESG)の観点を融合した金融商品を活用しており、2022年度にESGファイナンスを導入し、定期的に外部(地方経済総合研究所)からのモニタリングを受け、達成状況の確認を行うとともに、透明性を確保するため、経済的、環境的、社会的な情報を適時に開示している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・熊本地震の経験を踏まえBCPを策定し、防災・減災など災害対策に取り組んでいる。									9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者の育成・指導や、事業承継に向けた株価評価等対策を行っている。									8	9								17
11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・会社全体で安全運転・交通事故防止に努め「優秀安全運転事業所 プラチナ賞」の認定を受けている。 ・エンジニアの作業(玉掛け技能等)について、事故防止のために安全講習を実施している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・パート社員にも有給休暇を付与する等、従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・熊本市子育て支援優良企業の認定を受けている。 ・年間休日を100日超に設定するとともに有給休暇制度の取得奨励などにより働きやすい環境を整えている。 ・女性活躍推進室を設置しており、女性のキャリア支援や職場環境改善、育児と仕事の両立を支援している。(具体的な取り組みの1つとして、定期的に手作り子育てに関する悩み等の情報を掲載したニュースレターを作成・発刊し、育児休暇中の社員にも配布している) ・部署別で協議し自身の好きな日に休みを取ることが出来る「ローテーション休日」の導入、新入社員に「親孝行手当」の支給、社員同士で感謝を伝え合う「サンキューカード制度」導入等、当社独自の取り組みを多数行っている。			3		5.5		8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・知識と体験の蓄積の為、積極的に社員を研修等に参加させている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康経営優良法人の認定を受けており、禁煙促進への取り組みとして禁煙ウィークの設定や、健康診断や人間ドックの会社負担による受診体制の整備を行っている。 ・外国人労働者の雇用促進や各種ハラスメント窓口の設置などを行っている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・外国人技能実習生を受け入れ、雇用促進を行っている他、各種ハラスメント窓口の設置などを行っている。 ・女性活躍推進室を設置し、女性のキャリア支援や職場環境改善、育児と仕事の両立を支援している。 「2027年までに女性管理職を35%」「2030年までに社員の女性比率40%」を目標として設定しており、より多くの女性が自分の才能を活かし、働きやすい環境を整えることを目指している。 ・男性の育児休暇取得奨励や産休・育休制度の充実を図り、社員の働きやすい環境を整えている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・新型コロナウイルス対策の為、お客様にご了解を得て電話・メールによる商談の対応を行っている。 ・お客様に非接触体温計、手指消毒液、ポリエチレン手袋(うす手タイプ)の提供を行っている。 ・コロナ対策の一環として、お客様の車の引渡し(新車納車/中古車納車/サービス入庫)にはハンドルカバー、シフトカバー、サイドブレーキカバーを装着している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・DX推進チームを組成し、ICTを活用したマネジメントとマーケティングの実現に向け、業務改革に取り組んでいる。 ・手続きやカタログ等の電子化を進めている。 ・全社員へのPC・スマホ配付等し、業務効率化やテレワークを推進している。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	・熊本県プライト企業に認定されている。			3	4					8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・油水分離槽を設置する等、有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・2030年までのロードマップを策定し、環境負荷の少ない輸入車を積極的に使用し、販売することで、地域の持続可能な未来を目指している。 ・二酸化炭素排出量算定システムである「炭削くん」を活用し、自社の電力・燃料の使用量を把握する他、2024年からはscope3の排出量管理も開始している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・Jクレジットを活用している。 ・九電再エネエコプランを導入し、100%再生可能エネルギーを活用した店舗運営を実施している。 ・二酸化炭素排出量算定システムである「炭削くん」を活用し、二酸化炭素の排出量を把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動(お客様への飲み物提供時におけるストロー等のプラスチック製品廃止において、使い捨てプラスチック製品などの使用削減に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・裏紙の利用推進やカタログの電子化等ペーパーレス化を促進している。 ・ごみの分別を徹底しており、徐々にリサイクル率が向上している。 ・家庭で使用しなくなった子ども服、食料品を回収し、必要な方々に配布するプロジェクトを実施しており、資源の有効活用に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・『肥後の水とみどりの愛護基金』の水田湛水事業に協賛し、社員が田植えや稲刈りを行っている他、2023年度からは阿蘇大観の森での植樹活動も始め、地下水保全の取り組みを拡大している。 ・地下水保全の重要性を来店されるお客様にもご理解いただくため、収穫したお米をショールームに展示している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・自動車のフロンガスを回収する最新機器の導入など、環境に配慮した機械を導入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・熊本市や地元メディア(熊本日日新聞)、肥後銀行、地元企業と連携し、家庭で使用しなくなった子ども服、食料品を回収し、必要な方々に配布する「こどもまんなかプロジェクト」を実施している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・道守くまもと会議の活動の取組みを通じ、本社前の緑化を行う等、地域の緑化活動に参加している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・九電再エネエコプランを導入し、100%再生可能エネルギーを活用した店舗運営を実施している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・南阿蘇の保養所建設予定地に県産材の木堀を設置している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・阿蘇大観の森での植樹活動を行っている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・事業及び従業員の活動(お客様への飲み物提供時におけるストロー等のプラスチック製品廃止)において、使い捨てプラスチック製品などの使用削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・2030年までに「電動車(EV・PHEV)の販売台数累計300台」の目標を掲げている。 ・お客様に電動車について理解していただくため、自社独自のチラシを作成・配布し、車種ごとのCO2排出量も明示している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・2023年1月、県内自動車ディーラーとして初のカーボンニュートラル宣言を行い、100%再生可能エネルギーを活用した店舗運営を実現している。 ・2030年までのロードマップを策定し、環境負荷の少ない輸入車を積極的に使用し、販売することで、地域の持続可能な未来を目指している。 ・二酸化炭素排出量の可視化を進め、2024年からはscope3の排出量管理も開始している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト		事業者名: アデル・カーズ株式会社		・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																	(様式第2号)	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・メーカー所定の検査と整備を施した、高水準な中古車の取り扱いを行っている。 ・自動車の安全性能維持・向上のため、自動車整備のマニュアルを活用し、迅速且つ的確な点検や車検対応を行っている。 ・安全運転、交通事故防止に努めており、無事故・無違反の成果を上げた事業所を表彰する「優秀安全運転事務所表彰」においてプラチナ賞を受賞している。 ・安全運転についての知識やノウハウを活かし、お客様へのサービスの質と安全性向上に寄与している。																			
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・誰もが利用しやすいサービス提供を行っており、ショールームは全て段差を極力なくし、バリアフリーとしている。									9.1	10	11.7						17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・南阿蘇の保養所建設予定地に県産材の木堀を設置している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・バッテリー保管庫、部品庫については木材を使用し、木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・自動車の修理・点検の際に、正規パーツだけでなく、リサイクルパーツのご提案を行う等資源の有効活用の取り組みを推進している。 ・「アデルカーズサッカークラブ」を23年にわたり運営しており、地域コミュニティの一体感を高めることで孤立を防ぎ、地域のつながりを強化することに貢献している。 ・「SDGs推進室」を設置し、HPIにてSDGs宣言、優先課題やKPI・目標を公表し、持続可能な地域社会の実現に全社を挙げて取り組んでいる。 ・気候変動への取り組みを最優先課題とし、「2030年カーボンニュートラル宣言」をし、EV車等環境配慮型の商品の推進を行っている。 ・ステーキホルダーと協働し、フードドライブや衣料品を回収・再利用するプロジェクト、地下水保全活動など環境・社会課題解決の様々な取り組みを主導し、熊本県内企業のロールモデルとなるSDGsの取り組みを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・海ごみゼロウィークに登録し、近隣(近見近辺57号線沿い)の清掃活動を行っている。 ・田植えや稲刈りを行っており、収穫したお米は、熊本市を通じて『熊本県ひとり親家庭福祉協議会』に寄贈し、熊本市内のひとり親家庭の子どもたちへ届けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・従業員に社内回覧等により、ハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・会社の施設にAED(自動体外式除細動器)を設置している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・『SDGs推進室』を県内自動車販売店の中でもいち早く設置し、電動車の拡販、地下水保全活動、子供の貧困支援の活動など地域の持続可能性向上に向けた取り組みを実践している。 ・SDGs推進室のリーダーが地元金融機関主催の「脱炭素セミナー」に登壇し、カーボンニュートラルに向けた取り組みや、お客様への電動車拡販戦略について発表したり等、多方面でSDGsの普及啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生や大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。				4					8.6		10.2						17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度を活用し、地元の若者の県内就職を促進している。				4.4				8.5 8.6									17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17		